

2007年度特定非営利活動法人名古屋NGOセンター事業計画

1) 重点目標

長期目標：「人がつながり、動き出すネットワークをめざして
～加盟団体相互の多様な分かち合いと協働の醸成～」



2007年度の位置付け：中部地域のNGO活性化を支えるネットワーク作りに向けた行動の一年

2006年度の重点目標として「人がつながり、動き出すネットワークをめざして～加盟団体相互の多様な分かち合いと協働の醸成～」を掲げ、加盟団体相互の交流・学び合いが促進されるような仕組みづくりができるよう、最優先課題として取り組んできた。この目標は、ネットワークNGOとしての名古屋NGOセンターの持続的な取り組みを象徴するものとして、長期的目標とさせていただきたい。

それでは現在、名古屋NGOセンターに、この目標を具現化できる仕組みがあるかという点、決して肯定的な答えは出てこないかもしれない。しかし、2006年度は、加盟団体へ積極的に足を運び、ヒアリングなどを行う中で、この地域のNGOがかかえる課題や展望を抽出することができた。

これらの課題と照らし合わせて、名古屋NGOセンターでは、これまで、そして、今後の活動の総点検を行った。その結果、本年を長期目標実現へ向けた実践の年、つまり「行動の一年」と位置付け、地域でのNGOの活性化とそれを支えることのできるネットワーク作りを達成するための具体的な事業を展開したいと考えている。

2) 「行動の一年」への具体的取り組み：新事業のご提案とアクションプラン

新事業：「NGOサポート事業」

- 地域のNGOが「より良くしたい」と考えている部分の実現に向けて、お手伝いをする。
- 事業実施の過程において、NGOとつながる人どうしの顔と顔の見えるネットワークを構築し、互いの学び合いを促進する。

Step 1

「活動を行う中で、現状をより良くしたいと考えている団体」を対象として、公募を行う。公募に際し、団体からイベント補佐、教材作成、などNGOセンターがサポートさせていただける内容を提案していただく。

Step 2

面談を実施し、詳細な事業内容を決定する。その後、事務局スタッフやその他関係者が団体の方々とともに、仕事を進めていく。実施に際しては、その進捗状況をモニタリングし、適宜、課題に対応できるようにする。

Step 3

実施の過程を、直接の対象となるNGOのみならず、加盟団体、市民と広く共有することにより、NGOとつながる人どうしの顔と顔の見えるネットワークを構築し、中部地域のNGOの活性化につなげる。

アクションプランの実践

一日理事会にて決定したアクションプランの中から、2007年度は、以下の3点に注力したい。

- 事務所に情報掲示板を設け、加盟団体のイベントをできるだけ多くの人にアピールする。
- 過去の事業の資料整理を進め、内部の情報共有を促進する。
- 事務局通信を随時発行し、名古屋 NGO センターがより多くの人に「見える」ようにする。

3) 事業計画 (2にて紹介したものを除く。)

ネットワーキング/コンサルティング

◆加盟団体・他団体への訪問

そもそも、ネットワーク作りは、名古屋 NGO センターの最も基本的なミッションであり、新事業への取り組み、および、既存の事業を通じて、加盟団体への訪問を積極的に行い、顔と顔の見える関係を築き上げられるようにする。

◆NGOに関する相談窓口

今年も、「外務省 NGO 相談員」制度を利用しつつ、市民からの中部地域における国際協力活動についての相談を受け付ける。特に今年度は、「出張相談員」制度をより多く活用し、相談の量的、かつ質的向上に努める。

◆NGOスタディツアー合同説明会の開催

6月2日に開催する。昨年に引き続き、なごやボランティア・NPOセンターと共催する。この地域のNGOが企画する海外（主に開発途上国）へのスタディツアーに参加を呼びかけ、国際協力やボランティアのはじめの一步を踏み出すためのきっかけづくりを行う。スタディツアーとは何かというような概論説明や、NGOが主催する夏のスタディツアーについて合同で情報提供する。

◆ワールド・コラボ・フェスタへの協力

10月27日・28日開催予定。愛知県国際交流協会、名古屋国際センター、JICA中部が主催する本イベントに、今年度は、「国際交流フォトコンテスト（仮称）」の企画運営の一部を担う形で協力する。例年通り、ブース出展調整への協力、コラボ・リレー・プロジェクトへの協力も行う予定。

◆連合メーデーへの協力

4月28日、「日本ガイシスポーツプラザガイシホール（旧：レインボーホール）」にて開催された。11加盟団体が参加。

◆「インターナショナル・チャリティ・フェスティバル」（名古屋ウォーカーソン）への協力

5月20日に開催される名古屋ウォーカーソンにブース出展し、訪れた人にこの地域のNGOの活動を紹介する。

◆（特活）国際協力NGOセンター（JANIC）への加盟

例年通り国際協力NGOセンターに加盟し、他地域のネットワークNGOと連携を図る。

情報収集、情報発信、広報

◆会報『さんぐりあ』発行と発送作業

昨年に引き続き、加盟団体と理事の対談を連載し、加盟団体の活動を深く知ることのできる紙面づくりに注力する。また、「なごや第3世界交流センター」発足から20年を迎えるにあたり、当時活動されていた方に20年間の活動の想いを聞く企画を実施する。発送の際には、加盟団体に積極的にチラシの同封をしていただけるようにし、イベントなどの広報協力ができるようにする。

◆ホームページの改訂

近年は、ホームページを契機に名古屋NGOセンター、加盟団体の活動を知る人が増えているが、ホームページ上の情報整理はうまくできていないのが現状である。発足より20年を機に、中部地域でのNGOの活動が、より効果的に市民に普及できるよう、情報収集・発信の基盤整備として、ホームページの改良に高い優先順位を置いて取り組む。また、広報関連の寄付の拡充もはかる。

◆NGO入門講座（07年度新規事業／なごやボランティアNPOセンターと共催）

国際協力を始めたい人が、国際協力の多様な関わり方がある中で、どんな関わり方が自分に向いているか、何が自分にできるかなどを見つけ、活動につながるきっかけ作りを行う。この地域のNGO活動について広く一般市民にアピールできる場にしたい。

◆国際協力カレッジの開催

JICA 中部との共催により、国際協力に関する市民の理解を深める講座を開講する予定。

◆ アカウンタビリティセミナーの実施

JANIC に協力し、同セミナーを今年も開催する。「アカウンタビリティとは何か」という概論から始まり、「団体の現状に即したアカウンタビリティのあり方とは何か」ということを具体的に参加団体とともに模索できるようなセミナーの内容を設定する予定にしている。

◆ 書籍コーナー

書籍の寄付があり蔵書が増えたので、今年度はより多くの方々に貸し出しを行えるようにしたい。

政策提言、他地域のネットワーク NGO との連携

◆外務省との協議会（含：連携推進委員会、ODA 政策協議会）への参加

◆JICA との協議会（含：事業連携検討会、開発教育小委員会）への参加

◆外務省の ODA 評価有識者会議への参加

開発教育・国際理解教育

◆ 講師・ファシリテーター派遣

昨年に引き続き、愛知学泉大学、鈴鹿国際大学、京都精華大学に開発教育委員会より講師を派遣する。また、講座などの依頼に応じて適宜、加盟団体を紹介させていただけるようにする。

◆国際理解教育セミナーの開催

NIED 国際理解教育センターや、名古屋国際センター、JICA 中部、愛知県国際交流協会などと実行委員会を組み、例年通り市民向けの国際理解教育に関するセミナーを開催する予定としている。

人材・活動育成

◆ 次世代の NGO を育てるコミュニティ・カレッジ（Nたま）

今年度で 5 回目となる N たまでは、これまで実施してきたノウハウを活かし、さらに研修生一人一人に対するケアに力を入れていきたい。インターン先団体と研修生のコミュニケーションを取りやすくするための評価表の導入、研修生が企画を実施するまでのサポート体制の充実などを検討している。

◆ インターン、ボランティアの育成

名古屋 NGO センターに、NGO に関心のある人をインターンやボランティアとして、随時、積極的に受け入れ、この地域の NGO に送り出す。

◆ JICA による人材育成についての説明会

JICA が行う NGO スタッフ向け研修についての説明会実施に協力する予定としている。

複数の役割を担う事業

◆ なごやボランティア・NPO センターの管理・運営：24 ページを参照のこと。

◆ ステファニ・レナト賞の事務局運営

実行委員会年 4 回程度開催する予定としている。応募は通年で受け付けており、9月に選考委員会、10月に表彰式を開催する見込み。

運営

◆ 理事会、総会（5月19日）、登記・県への報告、総務・労務、寄付金募集